

入館者 70 万人達成 町立図書館



左側 2 人目から井野口さん、清水さん、蘭田さん

町立図書館では、2月17日、開館から8年7か月で70万人の入館者を迎えました。70万人目となった梅原の清水栄司さん、その前後に川俣の蘭田亜紀子さん、新里の井野口絵理子さんに、恩田町長からそれぞれに記念品が贈られました。

図書館は平成8年7月17日に開館して以来、約7万冊を所蔵し、子どもからお年寄りまで幅広い年齢のかたが利用しており、1日平均約255人のかたが来館しています。

70万人目となった清水さんは「感無量です。本に興味を持ったのがここ数年ですが読み始めたら面白くて利用しています」と笑顔で話してくれました。

幼稚園に2団体が来園し見学 幼保一元化施設を視察



説明を受ける視察団の皆さん

幼稚園では2月14・16日、愛知県教育委員会と茨城県坂東市から、明和町における幼保一元化の取り組みについて、関係者らが訪れ、現状を視察しました。

この視察は、愛知県教育委員会と坂東市において幼保一元化に向けての準備研究を進めるために、平成12年に建築した先駆的な合築園舎や幼稚園・保育園の一体化した運営と取り組み、そして今年度採択を受けた「総合施設モデル事業」等を参考にするために訪れたものです。

教育長、学校教育課長、園



園内を見学する視察団の皆さん

長出席のもと行われた説明会では、職員数や送迎の状況、保育料金等の質疑があり、町からの説明を熱心に聞いていました。

ISO2年次サーベイランス審査 環境負荷軽減にむけて

町では、2月27・28日の2日間にわたって、平成16年度に取得した、環境ISO14001の2年次定期審査が、(株)日本環境認証機構(JACCO)田丸義久主任審査員のもと、町長、教育長、全課長および推進員の約30人が出席して行われました。

この審査は、ISO14001を認定取得した事業所のマネジメントシステムが、ISOの規格に基づき適正に運営管理されているか、パフォーマンスが向上しているか審査し、認定継続に支障がないか行うものです。27日は、オープニングミーティングから始まり、最初に



審査員より審査方法の概要説明



現場審査を受ける職員

経営者と環境管理責任者のインタビューを開始。環境管理責任者を中心に環境目的や、目標、すでに行っている内部環境監査に関する審査を行いました。

2日目の現場審査では、都市建設課と学校教育課、生涯学習課、保健福祉課、税務課、総務課6課が審査の対象になり、関連運用手順書の実施状況の確認や、教育訓練記録等を聞き取り確認しながら、ISOの規格に沿って運営管理されているか、厳しく審査されました。

町で行っているISOへの取り組みについて、2日間の審査の結果、総合的に判断して「向上している」という結果報告がされました。